栃木を盛り上げるために頑張る中小企業診断士の情報誌

企業診断とちぎ No.95

2023
8

目　　次

○巻頭言
企業診断とちぎ８月号発行に寄せて
一般社団法人栃木県中小企業診断士会　会長　須田　秀規…　1

○政策・施策
令和５(2023)年度重点施策について　栃木県産業労働観光部　経営支援課…　2
「経営安定化支援事業」の取組みについて
栃木県信用保証協会　企業支援課長　金敷　裕史…　4

○私の研究
再現性のない心理実験仮説　中平　康　…　6

○私のいいね！
何気ない一日　坂上　公一…　8

○私の書評
『Anthro Vision（アンソロ ビジョン）人類学的思考で視るビジネスと世界』
ジリアン・テット著　安納　一貴……9

○士会の動き
総務・経理部報告（事務局より報告）　田中　義博…　10
研修委員会報告　山下　典江…　11
広報委員会報告　黒澤　佳子…　11
研究会活動報告（令和５年度活動計画について）　江田　彰　…　12
北関東信越ブロック中小企業診断士
フレッシャーズフォーラム2023
～栃木県企業内診断士研究会ティフ研主催活動報告～　坂上　弘祐…　14

○会員紹介
新入会員　有島由樹雄…　16
新入会員　大橋　孝洋…　16
新入会員　齊藤　久幸…　17
新入会員　鈴木　千穂…　17
新入会員　髙根沢　健…　18
新入会員　鴇田　安美…　18
新入会員　長野　純　…　19
新入会員　濱島　達史…　19
新入会員　岩上　翔　…　20
新任理事　高橋　邑伍…　21
新任理事　黒澤　佳子…　21

○インフォメーション
研究会活動予定、行事予定、会員情報、編集後記……　22

巻頭言

企業診断とちぎ8月号発行に寄せて

一般社団法人　栃木県中小企業診断士会　会長　須田　秀規

はじめに

平素より、当会活動にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

はじめに、去る５月26日第11回通常総会が開催され、会員はじめ来賓の方々の下で各議案とも慎重な審議の上、ご承認いただきましたこと、ご報告かたがたお礼申し上げます。

なお、黒澤会員、高橋会員が新たに理事として選任されましたので併せてご報告いたします。

今年度事業、その他

○会員満足の向上～活性化委員会の新設

企業内診断士をはじめとする会員の満足度向上を図り、新たに「活性化委員会」を新設しました。現在の企業内診断士研究会の「交流事業」「研修事業」「斡旋業務事業」など活動を引継ぎ・拡充するために、今年度は委員会としての活動基盤を整備します。他県協会を巻き込んでのフォーラムや、この夏の群馬県協会との合同合宿など、研究会の枠を超えて活発な事業を行っています。是非、会員皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

○会運営の変更

今年はインボイス制度への対応や、協会本部から要請のあるキントーン活用など、会運営が変わります。適宜事務局よりご案内いたします。

○本業支援の連携について

活性化協議会・保証協会の経営改善支援事業には、各機関と「よろず支援拠点」が連携して計画策定後の実行支援にあたっています。当該取り組みは今年度の中小企業白書（概要版）にも取り上げられました。案件の支援専門家として取り組む皆さんには、是非、「よろず」の人脈を活用して、支援企業の本業の支援にお役立てください。

○廃業支援について

やむを得ず廃業を余儀なくされる事業者も、残念ながら、増加傾向で推移している状況です。そのようななか、国も廃業支援に向き合う動きが見受けられ、先般は矢口前々会長が中小企業庁長官に呼び出しを受け、廃業支援についての意見交換を行ってまいりました。

支援専門家として派遣される会員皆さんから廃業を勧めることは制度上ためらわれるところですが、廃業準備は早期の着手が必要です。そのような事案は是非「よろず」にご相談ください。活性化協議会や事業承継・引継ぎ支援センター等と連携して、一人で悩む経営者に寄り添い、廃業をサポートさせていただきます。

おわりに

最後は「よろず」との連携のPRじみた話になりましたが、このような厳しい時局ではそれぞれの機関が連携して、オール栃木で地域事業者を支えることが重要と考え、他にも多方面での連携を模索しています。そのような趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いして、巻頭言を締めくくりたいと思います。

酷暑の折、お身体ご自愛のうえ、会員の皆様のご活躍をお祈りいたします。

令和５年７月17日

政策・施策

令和５(2023)年度重点施策について

栃木県産業労働観光部　経営支援課

はじめに

栃木県中小企業診断士会会員の皆様には、日頃から県産業施策の推進にご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

今回は､経営支援課の主な施策について、ご説明させていただきます。

特別相談窓口の設置について

中小企業の経営改善を目的として昨年度に引き続き「経営改善専門家派遣特別相談窓口」を設置しております。

本事業の実施に係る事前ヒアリングには貴会の事務局様、専門家派遣については会員の皆様に多大な御支援いただいており、この場を借りて御礼申し上げます。

今年度から既窓口利用事業者の窓口再利用までの経過期間要件を５年から１年に短縮し、過去に窓口を利用したことがある事業者がより本窓口を利用しやすくなりました。

金融機関や商工会議所、商工会とも連携を取りながら県内中小企業者を支援していきます。今年度も会員の皆様のお力添えの程、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先
経営支援課金融担当
TEL：028-623-3181

令和５(2023)年度県制度融資の主なポイント

県制度融資は表１のとおりメニューの拡充・融資条件の見直しを行いました。

資金としては、ゼロゼロ融資の借換や事業再構築などの前向きな取組にも対応した「伴走支援型特別融資」を創設し、事業者の経営の下支えを継続します。この融資では、経営行動計画に基づき、融資実施後も金融機関による継続的な伴走支援を受けることができます。

創業支援資金内に創設いたしました「スタートアップ支援枠」は、経営者の個人保証を不要とするもので、県内のスタートアップ企業を資金面から支援します。

業歴制限の緩和については「県内における事業実績１年以上」の対象要件を廃止し、「県内外関わらず事業実績が１年以上」あれば県内に新規進出する事業者も融資の対象としました。

さらに、過年度までは融資対象外だった事業に必要な土地の取得費や融資申込前に取得した設備投資も融資の対象となり、資金使途の幅が広がりました。

各事業の詳細につきましては、県のホームページを御覧ください。

表１　令和５(2023)年度制度融資のポイント

○伴走支援型特別融資の創設
○創業支援資金(スタートアップ支援枠)の創設
○融資条件の見直し
・業歴制限の緩和
・土地取得費制限の緩和
・設備資金における事前着手の緩和

お問い合わせ先
経営支援課金融担当
TEL：028-623-3181

栃木県事業承継支援補助金について

本事業は県内の中小企業者の優れた技術を次世代に引き継ぎ、安定した雇用の場を確保することを目的として、中小企業者が行う専門家を活用した事業承継を支援するものです。

○補助対象者
親族内承継、従業員承継、M＆Aにより事業承継に取り組もうとする県内の中小企業者（M＆Aで県内中小企業者を買収する県外中小企業者も対象）
○対象経費
事業承継に向けた各種手続等を専門家に委託した場合の経費
○補助率　　対象経費の１／２以内
○補助上限額　100万円
○申請締切
令和５(2023)年11月30日㈭まで
※申請額が予算額上限に達し次第、募集を終了します。
○申請・問い合わせ先
事業承継支援補助金事務局（一般社団法人栃木県商工会議所連合会）
TEL：028-637-3725

事業詳細につきましては、県のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先
経営支援課中小・小規模企業支援室
TEL：028-623-3174

スタートアップ企業支援のあり方検討について

スタートアップ企業については、高い付加価値を生み出すとともに、雇用の創出効果が高いことから、これまで県では、創業希望者に対する事業化に向けた相談や、創業後の事業者に対するビジネスアイデアのブラッシュアップのための助言など、専門家を活用した伴走支援を実施してきました。

このような中、国は、新しい資本主義の実現に向け、「スタートアップ育成５か年計画」を策定し、革新的なサービス等を提供するスタートアップ企業への投資額を５年で10倍にすることを目標に掲げ、スタートアップの創出支援を強化するとともに、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023年改訂版」では、社会課題を解決するスタートアップ企業についても支援することとしております。

このようなことから、これまでの県の取組を見直し、更なる支援策の強化を図るため、産学官金の10名からなる検討委員会を立ち上げました。

検討委員会においては、効果的な支援や機運醸成、県や支援機関の役割の分担等スタートアップ企業の創出と規模拡大に向けた検討を行うほか、県外先進地への視察も実施します。

また、104団体からなる創業プロジェクトチームにおいても意見交換を行いながら、スタートアップ企業の支援のあり方をまとめた指針を策定いたします。

お問い合わせ先
経営支援課商業活性化担当
TEL：028-623-3177

政策・施策

「経営安定化支援事業」の取組みについて

栃木県信用保証協会　企業支援課長　金敷　裕史

はじめに

栃木県中小企業診断士会ならびに会員の皆様には、日頃より当協会の業務に対し多大なるご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

当協会は、中小企業者の資金繰り面を支援する金融支援と、経営課題の解決を支援する経営支援を業務としています。

長引くコロナ禍に加え、原油・原材料価格の高騰等により、県内の中小企業者はかつてないほど厳しい経営環境下にあるため、当協会では、金融機関や栃木県中小企業診断士会（以下「診断士会」という。）をはじめとした外部専門家と連携を図り、中小企業者の収益力向上や経営課題の解決に向けた支援に努めています。

経営安定化支援事業の取組み

経営安定化支援事業（以下「支援事業」という。）は、経営課題の解決に意欲のある中小企業者に対し、豊富な知識と経験を有する外部専門家の協力を得て、実効性のある経営支援を行うことを目的に、平成24年にスタートした当協会の経営支援の取組みの１つです。

この事業は、診断士会と業務委託契約書を締結しスタートしましたが、中小企業診断士以外の外部専門家を増やすとともに、外部環境の変化や中小企業者のニーズも踏まえたメニューの拡充を図りながら、これまでに延べ1, 100企業以上に支援を行ってきたことで、当協会の経営支援の取組みとして、中小企業者や金融機関にも広く認知されるようになってきました。

事業開始当初は、返済緩和先に対する改善計画の策定支援を中心に行っておりましたが、近年はコロナ禍や原油・原材料価格高騰等の影響により収益力が悪化し、借入金が増大した企業が増えており、すぐには改善計画の策定が困難なケースも多いため、当面の収支改善に重きを置いた支援にも力をいれています。

また、本事業を活用した支援にあたっては、メイン行と支援の方向性について目線合わせを行い、中小企業者への同行訪問を通して課題を確認した上で、課題の解決に適した支援を実施しています。

支援事業では、中小企業者の悩みに合わせて選べる４つの支援がありますので、その内容について簡単に紹介します。

①経営相談

経営課題の解決に向けて何から始めようか悩んでいる方等に対して、課題解決の道筋を明確にすることで早期の経営の安定を支援します。

また、現状で実行可能なアクションプランを検討し、当面の収支改善を図ることで、その後の改善計画の策定支援に繋げることを目指します。

経営相談会は、毎月の定例開催のほか、中小企業者の要望に応じて個別開催も行っています。

②資金繰り予定表作成支援

業績悪化の予防的支援として、資金繰り予定表を中小企業者と一緒に作成することにより、収入増加と支出削減に焦点を当てて収支改善を目指したアクションプランを検討します。

資金繰り予定表については、協会職員が中小企業者と一緒に作成することが多いですが、比較的規模の大きい先や複数

の事業を行っている先等は外部専門家に依頼しています。

③本業支援

製造工程の改善、不採算事業の立て直し、メニューや単価の見直し、Webの活用等、経営課題のテーマを絞って解決を目指します。

また、当面の収支改善に向けた取組みや改善計画で検討したアクションプランの実行支援としても活用できます。

④計画策定支援

事業全体の課題を確認し、実現可能なアクションプランの検討や数値計画の策定、返済方法の見直しが必要な先については金融機関調整等を行い、将来の目標達成に向けた取組みを支援することで経営改善に繋げます。

また、計画策定を支援した先に対しては、計画の達成状況が芳しくなかったり計画期間が満了を迎える際に、修正計画や後継計画の策定が必要となる場合は、フォローアップ支援を行います。

栃木県よろず支援拠点との連携

令和４年度から、支援事業で改善計画の策定支援を行う場合、中小企業診断士による初回の個別指導時に栃木県よろず支援拠点（以下「よろず」という。）のコーディネーターとの同行訪問を開始しました。

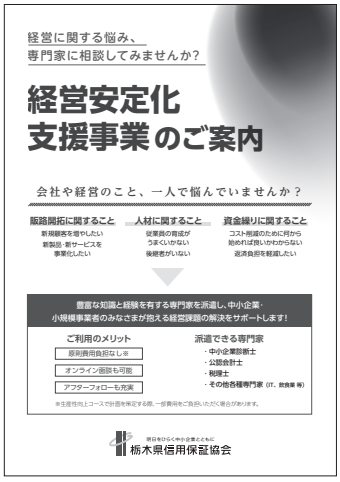
初回の個別指導にコーディネーターが同行することで、中小企業者の抱える課題についての情報を共有でき、中小企業診断士による計画策定支援と並行して、よろずの各専門コーディネーターには本業面の支援を行ってもらいます。

支援事業の中では、計画を策定した中小企業診断士が継続的にフォローアップする仕組みがないため、この部分をよろずと連携しコーディネーターによる伴走支援を受けることにより、改善計画の実効性が高まることを期待しています。

おわりに

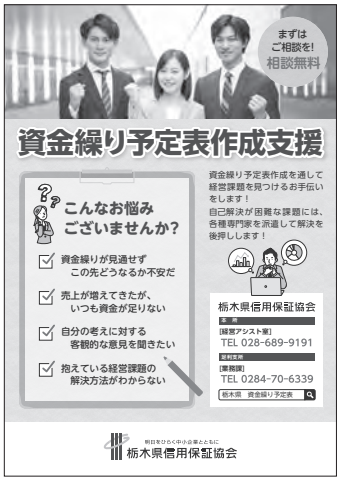
当協会では金融支援と経営支援を通して県内中小企業者の収益力向上や経営課題の解決を後押ししてまいりますので、診断士会の皆様にはより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

【経営安定化支援事業】



詳細はこちら

【資金繰り予定表作成支援】



詳細はこちら

私の研究

再現性のない心理実験仮説

中小企業診断士　　中平　康

メンタリスト

メンタリストDaiGoさんという方が、心理学をもとにしたベストセラー著作を連発しています。心理学の成果や実験を基にして、恋愛や夫婦関係、人間関係を良くしていこうという試みは、私も顧客との相談や接客において良く活用している手法の１つです。

実験心理学

このような実験心理学は、当然、学問としてきちんと再現性が確保され、統計的な有意性が確保されていると思いがちです。このような大学等の実験観察に基づく説（仮説）を当然の真実のように、私も考えておりましたし、皆様もそのようにお考えでしょう。

再現性が確保されない

しかし、最近になって、行われた実験の再現性が確保できない（もう一度同じ条件で実験をしても同じ結果が出ない）や、そもそも被験者数が足らず、有意性を満たしていない、あるいは、俗説に過ぎないと、最近になって疑われている心理効果が多く出て来ているようです。

勿論、再現性が確保できないからと言って、その効果が即間違いとは限りませんが、絶対正しいとは、言い難いようです。

その中には学術発表されたものではなく、単に、一般書として出版された効果で、学問的検証の行われていないものも混じっているようです。

吊り橋効果

「吊り橋効果」とは、吊り橋を渡る時のドキドキ感が恋愛のドキドキ感と勘違いを起こし、恋心を抱きやすいというものです。読者の中にもこれを信じて「もみじ谷大吊橋」へ脈が薄めの彼女を「恋人の聖地」言われているんだよ、等とのたまい、一発大逆転を狙った方もおられるのではないでしょうか。

しかし今では「この実験手法では結果を一般化できないのではないか」との批判が出ており、その効果に、否定的な意見が大半です。

実験内容

被験者は18歳から35歳までの独身男性で、ランダムに２組に分けられて揺れる吊り橋とコンクリートの丈夫な橋を渡った。橋の中央では魅力的な若い女性が待っていて、「私は心理学を勉強している大学院生です。調査に協力してもらえませんか」と声をかけられる。

被験者の男性がOKして簡単な心理テストに答えると、「結果を詳しく聞きたければ電話してください」と電話番号を書いた紙を渡される。

すると、揺れる吊り橋を渡った男性は（電話番号の紙を受け取った）18人中９人が電話をかけたのに対し、コンクリートの橋では電話したのは16人中わずか２人だけだった。なぜなら、揺れる吊り橋の上でのドキドキした感じを、脳が恋のときめきと勘違いしたから――。

というものです。

問題は、「魅力的な」女性でないと効果がないことでした。その後の実験で、「魅力的でない」女性から声をかけられるとこうした帰属エラーは起こらず、逆に不快感

が強まることがわかったのです。「ドキドキ感」を好意に帰属させることができず、「なんでこんな質問に答えなければならないんだ」という気持ちに帰属させてしまうというものです。

何かおかしいですよね。

このような、再現性や統計上の問題で今ではその効果に懸念のあるものをあげていきましょう。

再現性のない効果

①表情フィードバック仮説

表情フィードバック仮説とは、表情を作ると、それを原因として表情に対応した感情が生起するという仮説です。有名な仮説ですが、再現しても同じ結果は出ず、効果は思った以上に小さかったとのことです。

②マシュマロテスト

マシュマロのつまみ食いを我慢できる子供は将来有望だ、というような仮説です。これも効果は限定的であり、統計的な有意性はないようです。

③「目」の効果（目の画像による向社会性の向上）

「こちらを見つめる目」の図柄があると、それを見た人は誠実に振る舞うようになるという仮説です。これも、再現性がないとされています。

④スタンフォード監獄実験

スタンフォード大学で行われた心理学実験。普通の人々も刑務所の看守役・囚人役に選ばれると、看守・囚人らしく振る舞うようになることを示したはずでしたが、やらせ疑惑が出ています。再現性もないようです。

⑤宣誓効果

宣誓という行為が人を正直にするという仮説です。この仮説を検証したとする実験は、行動経済学者主導のもと自動車保険会社によって実施されていたのですが、データの捏造があると指摘されました。

⑥分離脳実験

左脳と右脳は脳梁を介して結びついています。しかし、てんかん患者の中には、やむを得ず脳梁を切断した患者もいます（昔の治療法）。そうした患者においては、あたかも左脳の心、右脳の心と二つの心があるかのような振る舞いがみられるという話だったのですが、再現性がないとされています。

⑦脳画像のもつ説得力

脳の画像さえ添付されていれば、その文章の信頼性があがるという仮説。大規模追試によれば、ほとんど再現性がみられませんでした。

⑧自由意志を疑う人は不正に走りやすい

自由意志信念をもつ人ほど望ましい道徳特性をもち、疑う人ほど不正行為に手を染めやすいという仮説ですが、再現されませんでした。

⑨１万時間の法則

ものごとを極めるには1万時間を費やす必要があるという法則。これも再現されず。

⑩ダニング・クルーガー効果

能力の低い人は、能力の低さゆえに自らの能力を過大評価するという仮説です。こうした現象自体は存在するものの、自らの能力を過大評価する理由が能力の低さのせいなのかどうかについては怪しいと考えられています。

信じる者は救われる

こうすれば悪くなるは問題としても、こうすれば良くなる、上手くいく、成功しやすいという法則には一辺の真実もありそうです。

私はひき続き、目の前の人の背景にある心理的影響について勉強していきたいと思います。

以上

平成７年中小企業診断士資格取得

株式会社足利銀行、株式会社リサパートナーズ等を経て、2018年中小企業診断事務所中平康として独立、認定経営革新等支援機関、栃木県よろず支援拠点コーディネーターとして、資金繰り、経営改善等の支援を行っている。

私のいいね！

何気ない一日

中小企業診断士／
1級ファイナンシャルプランニング技能士　坂上　公一

特別な日に「いいね！」

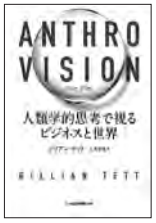
今日は１年の中で私が最も好きな日、夏至である。今年の夏至は６月21日だ。体を動かすことが好きな私は毎日、仕事が終わると近くのスポーツジムでウェイトや、スイミングで汗を流している。ただ１年でもっとも日が出ている時間が長いこの日だけは違う。会社に着ていったスーツからランニングウェアに着替え左腕にスマートウォッチを装着。自宅を後にする。北へ向かい約50メートル走ると足利大学のキャンパスが見えてくる。大学生や、系列の附属高校の生徒が帰宅の途につく姿を横目でみながら、さらに北へ進むと織姫公園の入り口を指す看板が見えてくる。織姫公園方面に向かって急な坂道を駆け上がる。公園内には神社がありその神社に向かってさらにペースをあげる。織姫神社は1300年の歴史と伝統を誇る機業地足利の守護神が奉られており、産業振興と縁結びの神様として足利市民に広く親しまれている。

読者の皆さんは、ここまで随分な距離を走ってきたように思われるかもしれないが、ここでスマートウォッチを覗いてみると走行距離は僅か２キロ、走行時間は15分足らず、カロリーに至っては200キロカロリーしか消費していないので、同じコースをもう一周。更にもう一周と周回を重ねていく。４周目を終えると、薄暗い夕暮れの中、ライトアップされた織姫神社が浮かびあがってきた。縁結びの神様がいることもありカップルが大勢いる。みんな幸せそうに手を合わせている。私も１年でもっとも日が出ている時間が長いこの日に健康で体を動かせる事と、いつも見慣れた神社とは少し違った顔を見せている織姫神社に「いいね！」

リベンジ未遂に「いいね！」

私は2008年９月、世界的な株価下落や、金融不安が起きた際、外国為替証拠金取引市場から強制退出された経験をもつ。現在、株式投資や、投資信託などは行うものの、あれからFX市場には参加していない。私の大好きな夏至の日、ジョギングから気持ちよく帰った夜、パウエルFRB議長が再び物価圧力を抑制するために金利が上昇する必要があると述べたのである。日銀との金融政策の違いが再び意識されるのか、頭を巡らす。現在のドル円のスポットレートは141円ちょうど付近。一時は、物価は落ち着き、金利上昇にストップがかかりつつあったとは言え、これまでドルの上昇トレンドが続いており、私はあと２円程度しかドルは上昇しないと予想する。つまり私はトレンドの転換点は近いと読んだのである。したがって１ドル143円よりドル高の水準にドル買いのストップオーダーを置きつつ、142円から143円のゾーンは、ドルが上昇するたびに売り注文を繰り返す、つまりドルを売り上がっていくことがベストであると踏んだ。証券口座の画面で今一度ドル円の動きを見て取引のタイミングを見計らう。14年ぶりの外国為替証拠金取引市場への参加である。確定ボタンを押す。取引不成立？不成立の理由はさておき、久しぶりの緊張感に「いいね！」

私の書評



『Anthro Vision（アンソロ ビジョン）人類学的思考で視るビジネスと世界』ジリアン・テット著　日本経済新聞出版

中小企業診断士　　安納　一貴

Anthro＋Vision

本書のタイトル「Anthro Vision（アンソロ ビジョン）」は、文化人類学（Anthropology）と視野（Vision）を組み合わせた造語です。

著者のジリアン・テット氏は、ケンブリッジ大学で人類学を修めたのち、フィナンシャル・タイムズで米国版編集長の要職に就くなど、ご自身も認めるように“異色の”経歴の持ち主です。リーマンショック前夜からサブプライムの危険性を訴え、2016年には『サイロエフェクト』を上梓し、サイロ化（たこつぼ化）した専門性の罠を説きました。

本書では、文化人類学の手法を用いてビジネスを捉える試みについて、自らの経験や他の人類学者の事例を引きながら論じています。

未知なもの⇔身近なもの

ビジネスをAnthroVisionで紐解くにあたり、大きく２つのアプローチが示されます。

一つ目は、対象をくまなく観察する「参与観察」の手法を用い「未知なものを身近なもの」にすることです。当時の著者には未知だった金融業界を分析するにあたり、対象を独自の言語を交わす“部族”としました。組織の儀礼や文化を読み解き、巨大な権力を持つ組織が外部から隔絶されることの危険性を描いています。

二つ目は、空間や境界の定義を通し「身近なものを未知なもの」に捉え直すことです。自らを取り巻く西洋的価値観などの前提を明らかにし、現象を再定義します。事例として挙がるのは「ホーソン実験」です。生産性に影響を及ぼす外部要因解明を目的とした実験が、かえって非公式な人間関係や個人の内面に注目する糸口となり、経営学に新たな視座を与える契機となった、と述べます。

死角を視る

いずれにおいても、著者はアウトサイダーかつインサイダーの立ち位置に身を置き、“聞く姿勢”を重視しています。自らの認識の死角を意識し、対象が言及しないことにも注意を払いながら「意味の網の目」や文化の影響を理解しようと「認知的な筋トレ」に努めるのです。

このような取り組みは、傾聴から敬聴に至る、伴走型支援に繋がるものだと思います。伴走型支援手法の検討に臨んだ官民合同チームは、「企業に気づかせるためには、支援者は企業以上に気づいていなければならない」との認識に至ったと聞き及びます。対話において認知的な工夫を要したことを示唆しています。

２つのAI

時相を反映して人工知能にも言及され、データは何か（what）を示すものの、なぜそうなったか（why）は教えてくれない、と指摘します。

人工知能では、画像認識などすでに人間の能力を超えている分野がありながら、文化的な解釈にはまだ人間に分があるのが現状です。

データの“なぜ”を読み解き、文脈に位置づけてセンスメイキングすることが人類学的視野の役割であり、人類学的知能（Anthropology Intelligence）がもうひとつのAIであると位置づけました。VUCAにおける２つのAIです。

人工知能の隆盛に対し、人だからできること（AIにはできないこと）を考える機会も多くなりました。本書に名が挙がる先達の知恵と共に人類学的視野について学ぶことは、有意義な試みであるのではないかと思います。

安納　一貴

宮城４年とジブチ共和国２年を除いて長らく宇都宮市在住。活動拡大を模索する企業内診断士。

士会の動き

総務・経理部報告（事務局より報告）

事務局長　　田中　義博

会員の異動

現在104名（前回報告以降、入会６名、退会なし）。企業内診断士の方が多いのが特徴です。

第11回通常総会の開催

５月26日、実出席33名、書面議決50名の合計83名の参加により、全議案が可決承認されました。

役員選任では、以下の２名が新たに理事に選任され、理事は24人に増員となりました。カッコ内は担当業務の内容です。

黒澤　佳子（広報委員長）
高橋　邑伍（活性化委員会）

主な委託事業等の進捗状況

1) 県経営相談窓口
16社実施（予算24社）。
県南の事業者から多数の申し込みがあり、間もなく予算に達する状況です。

2) 県経営革新計画フォローアップアドバイザー
８社（予算９社）

3) 保証協会経営安定化支援事業
今年度、新規着手27社
昨年とほぼ同じペースで順調に依頼が入っています。

5) 金融機関連携補助金申請支援
今年度、新規着手１件

6) 県中小企業活性化協議会（県協会実施分）
今年度、新規着手２件

7) 宇都宮市空き店舗補助金に係る経営診断
７社実施
年度初めより依頼が続いており、今年も早めに予算上限に達する可能性があります。

8) 高根沢町創業支援に係る経営診断
今年度は依頼が１件あり、専門家派遣を行っています。

9) 県食品ロス削減実証事業効果分析業務
昨年度に引き続き、１者分を実施しています。

10) 県自動車部品サプライヤー事業再構築支援事業
県工業振興課の専門家派遣事業で、今年度から士会受託事業として実施しています。

11) 宇都宮市アグリネットワークアドバイザー業務
例年同様、継続しています。

12) 宇都宮市障がい者工賃ステップアップ事業
例年同様、３事業所の工賃アップに向けた支援が始まっています。

会員検索システムのご案内

現在の登録数は28名です。ご自身で、士会のホームページ上から直接、情報登録できます。得意業種、地域、専門分野、公的資格等のPRの機会となりますので、積極的にご活用下さい。

理論政策更新研修の開催予定

今年は昨年より１週間遅く、９月16日㈯13：00～17：20、ホテルマイステイズ宇都宮にて開催されます。８月初め現在、申込受付中ですので、参加希望の方はお早めにお申込み下さい。

会費の納付状況

未納付会員23名（７月14日現在）。まだの方は、早めに納付をお願い致します。

士会の動き

研修委員会報告

研修委員会委員長　　山下　典江

本年度研修委員会　活動について

本年度研修委員会の活動テーマは以下の通りです。

1．理論政策更新研修：9月16日㈯
　ホテルマイステイズ宇都宮
　＜テーマ＞
①「新しい中小企業政策について」
　栃木県産業労働観光部経営支援課長
　久利生　隆氏
②「中小企業の事業承継支援について」
　栃木県事業継承・引継ぎセンター
　統括責任者　山崎　浩之氏
③「イノベーション・マネジメントに基づくコーチング型伴走による経営革新」
　㈱シンク・アイホールディングス
　取締役・CFO/CIO　浜崎　義樹氏

2．自主研修：5月26日㈮　実施済み

自主研修を総会日程に合わせて以下の通り開催しました。

「今、世間を騒がせる半導体とは？その市場成長性と日本の製造業への影響」

講師：松本　誠謙氏
　　中小企業診断士（当会理事）

3．視察研修：11月７日㈫　予定

日帰りバスツアーによる企業視察を開催します。

4．新年研修開催：検討中

活性化委員会と協力し、開催を予定しています。

士会の動き

広報委員会報告

広報委員会委員長　　黒澤　佳子

本年度広報委員会活動について

本年度広報委員会の活動テーマを以下の通り推進します。

1．会報「企業診断とちぎ」の発行

本年度も８月、12月、３月と３回の発行を予定しています。また次のように内容の充実を図り、親しまれる会報を目指します。

1) 適時テーマ記事の掲載
2) 診断士の活動、経営に役立つ記事などの掲載
3) 変化する事業環境で活躍する診断事例の掲載
4) 幅広い会員の多様な活動記事などの掲載
5) 会報による広報活動を進化させるための検討

2．その他広報推進事業

1) 士会会員への情報共有を増やしていく活動
2) 士会活動を紹介するポスターとリーフレットの作成

士会の動き

研究会活動報告
（令和５年度活動計画について）

研究会担当理事　　江田　彰

令和５年度も昨年度同様、中小企業が抱える様々な課題（経営改善、事業承継、DX化、カーボンニュートラル、SDGs等）解決のための診断・支援技術の習得及びレベル向上を目指した研究会活動を計画、活動を開始しています。

本年度の特徴は、他士業・よろず支援拠点･県内外支援機関･他県研究会との交流･連携強化に加え、活動成果発信対象の拡大（会員以外の診断士・診断士志望者等）及びその手段の拡充（セミナー・オンラインイベント等）です。

以下、4つの研究会の活動計画・活動状況をご紹介いたします。

[事業承継研究会]

<代表者・メンバー>　小峰俊雄、31名

<会合回数>　計画　６回(内実施済み１回)

<主な研究活動>

中小企業の多くは後継者が見つからないことで、事業が黒字でも廃業を選択する企業が多いのが現状です。ある機関の調査では、60歳以上の経営者のうち50％超が将来的な廃業を予定。このうち「後継者難」を理由とする廃業が全体の約３割に迫るなど、中小企業にとって後継者問題は深刻になっています。企業の業績が低迷し経済の活力が削がれてしまう懸念があります。

そこで当診断士会の会員診断士や事業承継に関心のある支援機関や専門家など現在32名集まって事業承継問題の解決に向けた様々な解決策・対処方法等の諸施策を研究し、スムーズな事業承継の提言ができるようにしています。

昨年から千葉県事業承継研究会との合同研修会も不定期ですが開催しています。診断士会会員でない方でも診断士会に入会することで、参加は大歓迎です。

・主な研究内容

①事業承継問題として、経営者の個人資産と会社の資産を整理し、現状把握する。

②会社の「磨き上げ」の対策
　会社のSWOT分析による現状分析

③事業承継計画表の作成手法の研究

④事業承継関連の税務・財務・法務の研究

⑤後継者への円滑なバトンタッチの実現

・開催予定日：毎年奇数月の年６回
・開 催 時 間：18時30分より１時間30分
・開 催 場 所：診断士会事務所
・代　表　者：小峰俊雄
・事　務　局：増茂好孝

（参加申込・問い合わせ等　メールアドレス：y_mashi1956@yahoo.co.jp

[企業再生研究会]

<代表者・メンバー>　勝沼孝弘、16名

<会合回数>　計画６回（内実施済み２回）

<主な研究活動>

中小企業診断士業務の一つの柱事業である経営改善に関する知識・ノウハウ・経験を高め、共有することで、診断士としての支援レベル向上を図ること。

・Ｒ５年度前半の研究テーマ

再生計画策定スキル（CF計算書について）とアクションプランとしてHRM（人的資源管理）にフォーカスを絞って、研究会会員が講義を行う。

・開催頻度：2ヶ月に１回程度（奇数月）
・開催場所：士会ＺＯＯＭ
・開催日時：第３水曜日19:00～20:30(90分)
・次回開催予定：９月20日㈬19：00～
　　士会ＺOOM

参加申し込み：
https://miitus.jp/t/rmc-tochigi/
↑URLから直接申込して下さい
・お問い合わせ　info@w-win.co.jp

［DX研究会］
＜代表者・メンバー＞　石田栄、17名
＜問い合わせ＞spne9659@athena.ocn.ne.jp
＜開催頻度＞　計画４回（内実施済１回）
＜開催日時＞原則、土曜日午後13：30～
＜主な研究活動＞
　活動理念としては、全体最適の視点で企業の生産性向上とメンバーの実務能力アップを掲げる。対象企業の生産性向上を目指すためには事業運営の基本である財務管理が確実に実施されることが前提であり、その上で中小企業の改善・改革のきっかけ作りから業務の可視化･自動化で生産性向上、更にはIT補助金の助言を行う。
　年度は昨年から引き続き２社をメンバーがヒヤリング・ディスカッション・提案を行い、IT化・補助金への導入ステップとする
◎従業員７名の自動車関連手作業溶接会社
　決算書分析して原因と対策取り必要。
　併せて､今期の月次決算分析と改善方向、並行して原因分析（IT活用）と改善進めてIT補助金への展開に進む。
◎従業員４名の住宅用製材と建築(関連業者)
　注文住宅は顧客からの要望受入れ、顧客が、納得するまで追加/変更工事、要望を都度、CAD等で３Ｄ図面を顧客に説明、調整。顧客がイメージしやすいCAD→画像処理への簡易化必要である。
　併せて建築契約時に顧客と個別仕様の明確化が必要。進捗が遅れているので挽回必要！
　２社ともに現状把握等で進捗は遅れているが原因を潰して関係者間で討議してIT化への道筋ができるまでステップアップしていく。
　又、昨年に続いて茨城県スモールＤＸ研究会とオンライン情報交換を行い、ＤＸ化進行状況やトピックス等、情報共有していく。

［企業内診断士研究会］
＜代表者・メンバー＞　松本誠謙、24名
＜会合回数＞計画17回（実施済５回）
＜主な研究活動＞
　地域の組織内中小企業診断士と関係者の皆様の活性化を目的とした活動を実施中です。
①組織内中小企業診断士が活躍できる
　地域の業務および活動の研究
②副業および兼業の働き方を考える研究
③実務従事活動の探求と実践の研究
④他地域の組織内中小企業診断士
　および関連団体の事例研究
⑤独立して活躍する地域診断士
　および地域有識者事例研究
⑥診断士志望者および関係者の学習知見
　および応援する研究
　本研究会は、対面の「年４回の定例研究会」､「毎月第３土曜のオンラインサロン」､「四半期に一度の事業」で構成されています。
　直近の定例会では、8月に予定している群馬県×栃木県企業内診断士合同研修合宿に向けた準備や、勉強会講師に埼玉県企業内診断士の会の創設者の方をお招きしました。コロナも明け研究会後の懇親会も盛り上がっています。
　オンラインサロンでは、ブログに上げた内容をトークテーマに、内容解説とフリーディスカッションをしています。８月回は群馬県との合宿と同日開催として、栃木、群馬の主要メンバーは対面で参加するハイブリッドオンラインサロンを企画しています。
　６月に栃木県信用保証協会の若手診断士との懇談会を開催するなど、交流事業も活発です。
連絡先：tifcorm_leader@googlegroups.com
Webサイト：https://note.com/tifcow

　以上です。なお、参加者の募集は常時行っていますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

士会の動き

北関東信越ブロック中小企業診断士フレッシャーズフォーラム2023
～栃木県企業内診断士研究会ティフ研主催活動報告～

中小企業診断士・技術士（情報工学）　坂上　弘祐

地域の中小企業診断士の祭典

中小企業診断協会ならびに北関東信越ブロック各県協会後援イベント「北関東信越ブロック中小企業診断士フレッシャーズフォーラム2023」を2023年５月に開催しました。皆様のご支援ご参加に感謝致します。

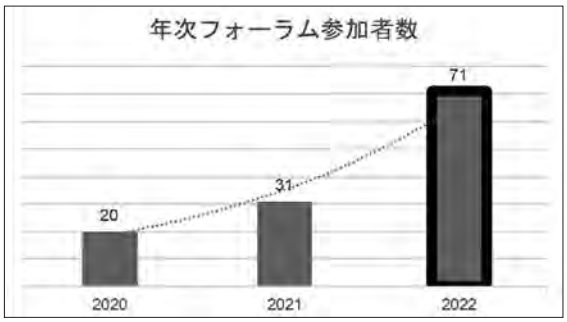
各県PRキャラが彩るイベントポスター

中小企業診断協会・北関東信越各協会ご案内

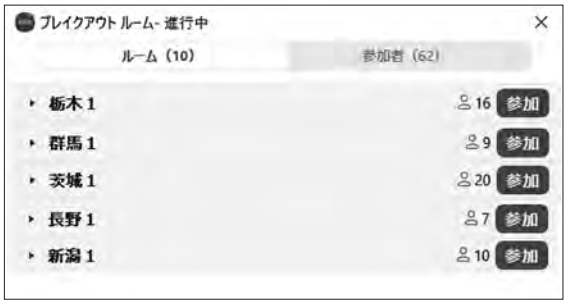
年次フォーラム当日の様子と所感

当日は各県会長クラスも来訪、北関東信越広域連携オンライン開催で北関東信越を冠するに相応しい盛会となりました。多数の方に診断士会や診断士自体をPRできました。カリキュラム等はティフ研HPを参照下さい。

70名超の参加者をお迎えできました。

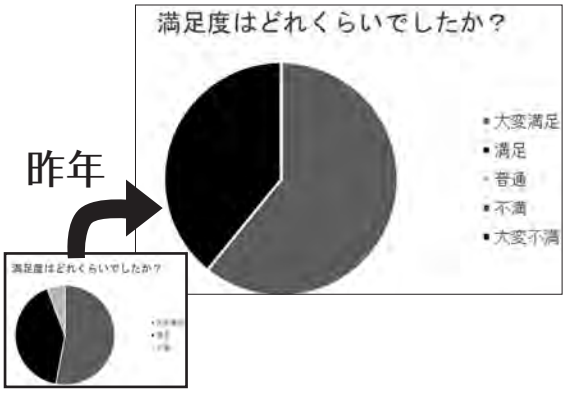


10～20名程度に分かれ白熱した各県座談会。



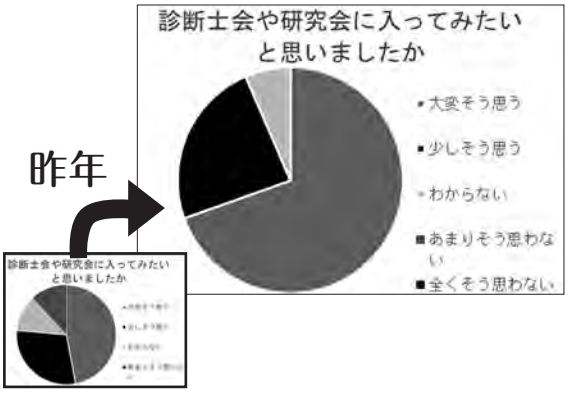
当日参加者との盛会クロージング記念撮影

100%の参加者が「大変満足」「満足」



以下、満足頂いた理由を抜粋紹介します。
・会長や会員皆様から直接活動内容を聞けた。
・他県の活動や診断士に出会い刺激になった。
・企業内診断士の様々な情報を聞けて満足。

90%以上の参加者が診断士会/研究会に興味



以下、興味を頂いた理由を抜粋紹介します。
・企業内診断士でも歓迎してくれる雰囲気。
・諸先輩方との交流やスキルアップを図れる。
・合格メリットの話が本当にそうだと思った。

当日参加者の感想やご意見など（VoC）

- このような形での北関東信越地域の連携驚きました。アットホームな雰囲気が伝わりました。
- とても大勢の方が参加されていて驚きました。とても楽しく時間が過ぎるのが早く感じました。
- リモートが普及する昨今、複数の地域の中小企業診断協会で活躍できることのヒントになった。
- 県内在住で県内の診断士活動をと思い、入会に先立ってお話をお伺いできて良かったです。
- 貴重なマッチング等機会をありがとうございます。今後、県協会と接点ができると嬉しいです。
- 前半プレゼンは自分の将来を考えるのに役立ち、後半座談会もたいへん充実していました。
- 普段は繋がる機会の少ない方と出会えるのはよい。来年も是非開催してほしい。

当日参加者の改善要望など（VoC）

- 各県協会の特徴など最初に簡単に説明して頂くような場があるとよりありがたいです。
  →限られた時間の中で各県協会の特徴紹介を効率的に行える枠組みが必要。
- 県別座談会では人数が多かったので、もう少し自己紹介の場があっても良かった。
  →限られた時間の中で自己紹介が上手く執り行える枠組みが必要。
- 企業内診断士は、いろいろな課題を抱えています。引き続き、こうした交流があると良いです。
  →組織内企業内診断士向けのサービス向上や活性化を図る様々な取り組みが必要。

本イベントは、当初の構想である東日本地域でこれまで無い地域の中小企業診断士の祭典を目指した活動が結実した形となり幸いである。

北関東信越ブロック広域連携の象徴として、皆様の有意義な場として、ぜひ定例行事としたい。今後も皆様のご支援・ご協力をお願いしたい。

坂上　弘祐
医療機器製造業勤務　研究経営技術企画現職
中小企業診断士・技術士（情報工学）
栃木県企業内診断士研究会ティフ研　幹事
中小企業診断協会後援同イベント　事務局長

新入会員

①氏名：有島　佑樹雄（ありしま　ゆきお）
②住所：宇都宮市（出身地：茨城県水戸市）
③登録年：2022年
④経歴・活動等：
・栃木県信用保証協会勤務
・栃木県企業内診断士研究会所属

メッセージ：
●大学卒業後、栃木県信用保証協会に入協し、現在は創業・事業承継関連業務に従事しております。
●事業環境の変化が早く複雑化している中、中小企業・小規模事業者に対する経営支援は喫緊の課題であり、信用保証協会においても各支援機関や支援専門家と連携して経営支援に取り組んでおります。
●診断士として学習と経験を重ねることで、企業の成長と地域経済の発展に貢献していきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
●趣味：旅行、音楽ライブ

①氏名：大橋　孝洋（おおはし　たかひろ）
②住所：日光市
③登録年：2023年（１年目）
④経歴・活動等：
・ソフトウェア開発：６年
・ITシステム導入/保守：10年
・2023年9月に農業資材メーカーを退職し、独立予定

メッセージ：
16年間ITを専門分野として職歴を積んでまいりました。昨今のDXやデジタル庁創設等の流れを汲み、経営×ITの企業支援を行いたいと考え、診断士を志しました。
９月には現職を退職し、独立診断士として活動する予定です。
Google社では、「Fail fast.（さっさと失敗しなさい）」が合言葉だそうです。私自身も同じ考えです。未経験で不安なことでも「まずはやってみる」ことが信条です。診断士として幅広い経験を積み、早く一人前に成長していきたいと思います。
様々な研究会や懇親会に参加していきたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

新入会員

①氏名：齊藤　久幸（さいとう　ひさゆき）
②住所：鹿沼市
③登録年：2014年
④経歴・活動等：
・企業内診断士。2006年より地方銀行勤務。
・診断士としては2014年登録以降、経営改善支援、補助金申請業務等に携わりました。

メッセージ：
●初めまして。生まれも育ちも茨城県、勤務先も茨城地盤の銀行ですが、縁あって鹿沼市に拠点を構えることとなり、栃木県中小企業診断士協会に入会しました。
●診断士登録以降は経営改善支援や補助金申請に携わりました。将来的には企業の再生支援に関与していきたいと考え日々研鑽に励んでおります（現在の仕事は長らく営業畑なのが泣き所です…）。
●診断士は企業の支援家として身近にあるべきと考えます。より多くの企業の認知を得て、診断士業界が大いに盛り上がれるように微力を尽くしたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。

①氏名：鈴木　千穂（すずき　ちほ）
②住所：宇都宮市
③登録年：2022年
④経歴・活動等：
・宇都宮商工会議所　職員（経営指導員）
・栃木県企業内診断士研究会（ティフ研）所属

メッセージ：
●宇都宮商工会議所の経営指導員として、地域の中小企業・小規模事業者支援に従事しています。
●商工会議所にて中小企業診断士の先輩方の仕事を拝見し、私も業務を通じて地域の中小企業・小規模事業者に喜んでもらえる支援を行いたいと思い、中小企業診断士を取得しました。（2021年度合格）
●まだ駆け出しでありますが、公的支援の側面から地域経済活性化に貢献したいと考えていますので、引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。
●趣味は、耳読書（Amazon　Audible、YouTubeなど）です。

新入会員

①氏名：髙根沢　健（たかねざわ　けん）
②住所：高根沢町
③登録年：2022年
④経歴・活動等：
・作業療法士として約10年間、医療福祉施設で、身体障害者、高齢者のリハビリに従事
・現在は、障害者就労支援施設に勤務
・精神障害者の社会復帰に関する相談支援や職業指導に従事

メッセージ：
●過去、障害者支援施設での事業縮小の経験から、企業経営の知識の必要性を痛感し中小企業診断士資格を取得するに至りました。
●現在、医療福祉業界でもコロナによる経営不振に悩まれている経営者が多いと伺っております。今後、中小企業診断士の知識を活かして経営支援のお役に立てるよう経験、勉強を積み重ねていきたいと思います。
●中小企業診断士としてまったくの駆け出しで、右も左もわからない現状から一歩でも前に進めるようにこれから精進して参ります。診断士会の諸先輩方、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

①氏名：鴇田　安美（ときた　あみ）
②住所：宇都宮市
③登録年：2023年（予定）
④経歴・活動等：
・地方自治体の農業関係の部署で、11年間勤務しています。
・補助金助成事務、農作物の新品種・新技術の普及、試験研究予算の管理等をしていました。

メッセージ：
●現在実務補習中で、今年度登録予定です。
●診診断士としての経験はありませんが、求められるものや最新の情勢を勉強し、自分の得意分野といえるものを獲得したいと考えています。
●まずは補助金の申請等を通じて中小企業の皆様のサポートができたらと思っています。
●県内中小企業の皆様に貢献できるよう努めて参りたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

新入会員

①氏名：長野　純（ながの　じゅん）
②住所：埼玉県さいたま市北区
③登録年：2023年
④経歴・活動等：
・2014年の大学卒業以降、オフィス用品等の営業職（2年）、家具インテリア業界紙の編集者（1年）を経て、この６年間はWEBエンジニアとしてゲームアプリの開発やECサイトの構築などに携わってまいりました。現在は独立診断士として活動中。

メッセージ：
●生まれも育ちも埼玉ですが、母方の祖父が藤岡町（現:栃木市）で家具の製造業を営んでいたこともあり、栃木には縁があります。15年前に祖父も廃業しましたが、当時は高校２年生で何も力になれなかったことが診断士を志したきっかけです。
●WEBやSNSの構築・運用だけでなく、販売士としてお店の販売改善やマーケティング支援にも興味があります。WEBというバーチャルの世界だけでなくリアルな世界でも企業や事業者の皆さんに寄り添い、共に未来を切り開いていくのが自分の使命です。
●趣味：旅行、読書、料理、ドライブ、ゴルフ

①氏名：濱島　達史（はましま　たつふみ）
②住所：東京都新宿区
③登録年：2023年
④経歴・活動等：
・1975年　栃木県宇都宮市生まれ
・1995年　東京大学入学
・1999年　在京テレビ局入社
⇒スポーツ取材/中継・番組制作・営業職に従事
⇒並行して親族経営の中小企業に取締役として参画
・2023年　中小企業診断士登録

メッセージ：
●生まれ故郷で今も実家のある栃木県へ“恩返し”がしたいです!
●五輪＆WBC取材で鍛えた「質問力」番組制作で鍛えた「表現力」
そして･･･営業で培った「課題解決力」「対人力」が強みです
●企業内“プロボノ”診断士として、映像制作会社の課題解決で活動を開始しています
●趣味：ゴルフ（小山市＆鹿沼市の倶楽部に所属しています）・サウナ
●先輩皆様にご教示頂きながら“地元”の課題解決に取り組みます!

新入会員

①氏名：岩上　翔（いわかみ　しょう）
②住所：栃木市
③登録年：登録準備中
④経歴・活動等：
・医療機器メーカーに在籍
・コンサルティングファームと技術商社で営業、エンジニア、コンサルタントとして従事
・ITを活用した業務改善や企画に多く携わる

メッセージ：

「人類最大の発明は何か？」と問われたならば、私は「企業」と答えます。

その理由は、ビジョンを掲げ、目標達成のために仲間が集まり、リスクを分散しながら成果を追求することによって、無数の企業活動が人類の文明発展に貢献し、現代社会を形成しているからです。物理学者アインシュタインが「複利」と答えたように、企業も連続的な成長と進化をもたらす力を持つと信じています。

私のキャリアの中心はITです。キャリアを積む過程で、

「企業活動を活性化することで社会に貢献したい」

「もっと経営に近い立場に携わりたい」

「ITは目標達成のための要素に過ぎない」

という想いが強くなり、中小企業診断士の資格を取得しました。今後、活動範囲をさらに広げていきます。

経営者との対話と傾聴を心がけ、企業経営の成果に結びつけるために「企業」という発明を積極的に活用し拡大していきます。また、同時に中小企業を通じた「顔の見えるつながりの価値」や「お金以外の価値交換」といったテーマも探求していきます。

趣味：ギター、ルービックキューブ

資格：ビール検定、サウナ・スパ健康アドバイザー、QC検定、IT/IoT各種

理事紹介

メッセージ：
　中小企業診断士として独立後３年半が経過しました。現在は中小企業活性化協議会様の支援制度を活用した仕事をしております。今後の抱負として難易度の高い改善案件を数多くこなすことで、専門家としての実績を積み上げていきたいと考えております。

プロフィール：
高橋　邑伍（たかはし　ゆうご）
1992年７月８日生まれ（31歳）
2020年８月　個人事業主として独立
2022年５月　株式会社405firmとして法人成り

メッセージ：
　思えば2012年に入会させていただいてから10年が経ち、入会当初は東京支部との掛け持ちでしたが、徐々に地元栃木を応援したい気持ちが強くなりました。何より、士会の皆様のチームワークの良さに惹かれたことは、今も変わらぬ想いです。
　今年３月、事業承継研究で博士号をいただきました。これからは、研究と実践の両輪のバランスをとりながら、中小企業を支えていきたいと願っています。

プロフィール：
黒澤　佳子（くろさわ　よしこ）栃木県益子町出身。
アットハーモニーマネジメントオフィス代表。
銀行、IT企業、監査法人を経て独立。診断士の他に、CFP、内部監査人、システム監査等の資格を保有。博士（政策学）。秀明大学他２校にて経営学、起業等の授業を行う。

インフォメーション

●研究会活動予定

年	月	研究会活動			
		事業承継研究会	企業再生研究会	DX研究会	企業内診断士研究会
2023年 （令和5年）	4月			●キントーンサイボウズ研修 （有志2名）	●4/15（土） オンラインサロン(第31回)
	5月	●5/22第32回事業承継研究会	●5/17（水） 企業再生研究会（第29回）		●5/20（土） 北関東信越合同フレッシャーズフォーラム2023
	6月			●6/5～6/30キーエンス社のRPA研修（Zoom使用） 受講申込者6名対象	●6/10(土） 定例研究会（令和5年度第1回） ●6/18(土） オンラインサロン(第32回)
	7月	○7/24第33回事業承継研究会	●7/19（水） 企業再生研究会（第30回）	●7/1（土）第１回DX研究会 ２グループの活動進捗討議	●7/15（土） オンラインサロン（第33回）
	8月				○8/19（土）・20(日） 群馬県×栃木県企業内診断士合同研修合宿 ○オンラインサロン（第34回）
	9月	○9/11第34回事業承継研究会	○9/20（水） 企業再生研究会（第31回）	○9/2（土）第2回DX研究会 ２グループの活動進捗討議	○9/16（土） オンラインサロン（第35回） ○9/下 定例研究会（令和5年度第2回）
	10月			○とちぎビジネスAIセンター 見学、AI導入相談等	○10/21（土） オンラインサロン（第36回）
	11月	○11/13第35回事業承継研究会	○11/15（水） 企業再生研究会（第32回）	○茨城県診断士会DX研究会 Zoom打ち合わせ（2回目）	○11/中 オンラインサロン特別公開体験会(第37回)
	12月			○12/2（土）第3回DX研究会 ２グループのIT補助金検討	○12/中 定例研究会（令和5年度第3回） ○12/16（土） オンラインサロン（第38回）
2024年 （令和6年）	1月	○1/22第36回事業承継研究会	○1/24（水） 企業再生研究会（第33回） *第4水曜日です！		○1/20（土） オンラインサロン（第39回）
	2月			○2/24（土）第4回DX研究会 本年度の反省と次年度活動方針	○2/17（土） オンラインサロン第40回記念特別講演（第40回）
	3月	○3/18第37回事業承継研究会	○3/13（水） 企業再生研究会（第34回）		○3/中 定例研究会（令和5年度第4回） ○3/16（土） オンラインサロン（第41回）

注：●実績、○計画及び予定

表紙写真

表紙：百日紅咲く夏（下野市・天平の丘公園）

暑い夏ほどたくさんの花房をつける百日紅は、一時ながら夏の暑さを忘れてしまう。

撮影　舟橋　哲次

裏表紙：瑠璃色の詩　（矢板市・おしらじの滝）

この滝は大雨の後にだけ出現するといわれる。清らかな水が流れ込む滝壺は神秘的な青色に変わる。

撮影　舟橋　哲次

インフォメーション

●行事予定

年	月	研修会	診断実務従事事業等	主催セミナー／行事等	企業診断とちぎ等	本部・ブロック関係
2023年 （令和5年）	4月					
	5月	●5/26（金） 研修会 ホテルニューイタヤ		●5/26（金） 第11回通常総会		
	6月					
	7月					
	8月				○「企業診断とちぎ」 第95号	
	9月	○9/16（土） 理論政策更新研修 ホテルマイステイズ 宇都宮	○受講者募集			
	10月					
	11月		○企業診断	○中小企業診断士の 日　記念事業		
	12月		○企業診断		○「企業診断とちぎ」 第96号	
2024年 （令和6年）	1月	○1/20（土） 新年研修会				
	2月					
	3月				○「企業診断とちぎ」 第97号	

注：●確定、○予定（詳細未定）、■□本部行事等

●会員情報

【会員数】（令和５年８月１日現在）

正会員　　100人

準会員　　４人

●編集後記●

執筆いただいた皆さま、ご多用のところご協力いただき本当にありがとうございました。

今回初めて編集後記を記載させていただきます。

９月16日㈯に予定されております理論政策更新研修では、「イノベーション・マネジメントに基づくコーチング型伴走支援による経営革新」というテーマが設定されています。中小企業庁も６月に「経営力再構築伴走支援ガイドライン」を公表したばかりなので、とてもタイムリーな研修内容でとても興味深いです。新入会員の皆さまにも早速執筆いただき、新しい風を運んできてくださりとても嬉しいです。猛暑や雷雨等の異常気象が続きますが、ぜひご自愛ください。

改めて、執筆いただいた皆様と広報委員メンバーのご協力に感謝申し上げます。

（岩本　進）

瑠璃色の詩　（矢板市・おしらじの滝）:撮影　舟橋　哲次

企業診断とちぎ８月号（第95号） 令和５年８月

発　　行　一般社団法人　**栃木県中小企業診断士会**
〒321-0152　栃木県宇都宮市西川田７－１－2
TEL:028-612-8880　FAX:028-612-8834
URL:http://www.rmc-tochigi.or.jp/

発 行 人　須田 秀規
編　　集　広報委員会
印刷会社　株式会社松井ピ･テ･オ･印刷

表紙:百日紅咲く夏　（下野市・天平の丘公園）:撮影　舟橋　哲次